

武漢市の展示会について

大分市武漢事務所 趙 南星

展示会は都市の窓口であり、都市に潜在的かつ長期的な影響力をもたらしています。2012年に展示業工作指導グループ会議が初開催され、展示会事業の発展に注力するという方針を固めて以来、武漢市ではさまざまな分野における展示会を数多く開催しています。

武漢市商務局展示会弁公室は、武漢国際博覧センターの落成に伴い、関係機関と積極的に連携し、展示会の誘致を行うことで、全国規模の博覧会誘致に成功しています。武漢市での展示会開催数は爆発的に増加しています。

展示会の会場について

武漢市は全国的に見ても、最新技術を導入したハードインフラ分野で上位にあり、展示館規模は第三位で、広いプラットフォームと空間の提供が可能です。大規模な会場は3か所あり、武漢三鎮に分布しています。

漢口開放大道に位置する『武漢国際展示会センター』は、5万㎡の展示面積に2,500個のブースを設置することが可能です。市民生活に近い商品の展示即売会などの開催に適しています。

武昌東湖新技術開発区に位置する『武漢科学技術センター』は、3万㎡の展示面積に、1,300個のブースを設置することが可能で、ハイテク分野の展示会などが開催されています。

漢陽新区に位置する『武漢国際博覧センター』は、展示面積19万㎡を誇り、6,880個のブースを設置することが可能です。こちらでは大規模なブランド展示会等が開催されています。

その他にも、市内には大小さまざまな規模の展示施設が約40か所あり、ニーズに合わせた会場の提供が可能となっています。

行政のサポート

武漢市は2,000万元（約3.9億円）の展示業発展特定項目資金を拠出し、展示業の税負担を大幅に軽減しています。

また、展示会等誘致においては、交通アクセスから飲食の手配まで、全面的にサービスを提供することで展示会開催を支援しています。

新技術の導入

モバイルインターネットの発展につれ、デジタル技術を通じての情報収集や商品展示、観客同士の情報交換の比率がますます高くなっています。これまでの展示会では、主催者側から展示面積や出展企業数、参加者数などの限られた情報しか提供できませんでしたが、現在では、ブースに関する情報をリアルタイムで検索することもできます。

また、出展者は参加者が立ち寄ったブースや、そこに留まった時間などの詳細な情報も得ることができるようになり、データから参加者のニーズを分析することができます。

展示会という伝統的なビジネススタイルに、新技術が導入されることで、買い手と売り手の双方が、革命的な体験を得ることができます。

今後は、中国におけるネット環境の発展やクラウドの利用者数増加、スマートフォンをはじめとするモバイル端末の普及も相まって、新たな技術の導入がますます進み、展示会の形式も大きく変化していくものと思われます。

展示会がもたらす効果

展示業のもたらす事業効果は、1対9ぐらいになると言われています。つまり、展示業の直接収益が1億元（約19億円）であるのに対し、展示会等が他の産業にもたらす収益は9億元（約171億円）にのぼるということなのです。多くの都市において、展示会が企業誘致に大きく貢献しています。展示業は、産業の拡大や外資系企業誘致、外資導入、都市機能の向上促進に、大きな役割を果たしています。

中国中部投資貿易博覧会

5月18日から20日にかけて、第9回中国中部投資貿易博覧会（以下「中部博」という）が開催されます。中国商務部、国家税務総局、工商総局、新聞出版広電総局、中国貿易促進会、全国工商联合会、中国工業経済联合会及び中部6省政府の共同主催で、これまで8回開催されており、中国中部6省において、対外開放拡大、企業誘致、国際交流強化の重要なプラットフォームとなっています。

主な内容としては、企業と特産品の宣伝及び展示、投資プロモーション、各省のブース展示、観光資源のプロモーション、国内外の有識者を招いての公演会のほか、農業や自動車、化学工業、ハイテク産業、省エネ・環境保護、物流、金融、観光等をテーマとしたフォーラムや商談会が開催されます。

この他にも、多くの展示会が開催される予定です。ぜひ、出展をご検討ください。



武漢国際展示会センターでの展示ブース